

2017年12月改訂

動物用医薬品

貯法 室温保存



917932

馬用非感染性関節炎治療薬

ハイオネート[®]

承認指令書番号 27 動薬 第18号

販売開始 2000年 8月

再審査結果 2007年10月

【成分及び分量】

1 mL中
ヒアルロン酸ナトリウム 10 mg

【効能又は効果】

馬の非感染性関節炎の治療

【用法及び用量】

1回当たりヒアルロン酸ナトリウムとして下記の量を関節腔内又は静脈内に1週間隔で1～3回注射する。
関節腔内:1関節当たり20 mg
静脈内:1頭当たり40 mg

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の適切な指導の下で使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・開封後は速やかに使用し、残液がある場合は廃棄すること。
- ・使用済みの空容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(馬に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・投与後少なくとも7日間は、馬の過度な運動を避け安静に保つこと。

(取扱い上の注意)

- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。

(専門的事項)

①対象動物の使用制限等

- ・本剤は、幼弱及び病中、回復期の動物並びに産前・産後の動物には投与しないこと。
- ・妊娠中の馬に対する本剤の安全性は確立していないので投与しないこと。

②重要な基本的注意

- ・関節腔内投与に際しては、次のことに注意すること。
 - (1)可能な限り腫脹及び感染症を防止するため、注射部位を適切に消毒するとともに動物を保定し、厳重な無菌的操作のもとに投与すること。
 - (2)過剰な関節液は投与前に無菌的に除去すること。
 - (3)注射針の先で関節軟骨表面を傷つけないように注意すること。
 - (4)注射部位の皮膚に炎症、水疱又は過剰な皮垢を認める馬、又は反対刺激薬を投与した馬には関節腔内投与を行わないこと。
 - (5)関節腔内で注射針を過度に動かすと、投与後24～48時間に腫脹を起こすおそれがあるので慎重に投与すること。
- ・静脈内投与を行う際には、無菌的操作のもとに頸静脈内に緩徐に投与すること。

③副作用

- ・本剤の関節腔内投与後に、まれに関節に腫脹、疼痛、麻痺、過敏反応又は跛行等の徴候が認められることがある。

【薬理学的情報等】

ヒアルロン酸の作用

- 三次元構造により滑液の粘度を確保する(潤滑)
- 滑膜の濾過機能を補助する(滑液の組織の調整)
- 硝子軟骨の成分となる
- 軟骨に栄養分を供給する
- またヒアルロン酸ナトリウムには、以下のような抗炎症作用が確認されている
 - ・顆粒球およびマクロファージの走化性食作用の抑制
 - ・インターロイキンの作用の抑制
 - ・リンパ球の増殖および遊走の抑制
 - ・フリーラジカル放出の低減
 - ・プロスタグランジン放出の低減

(出展) Sodium Hyaluronate: A Review of Current Knowledge and Current Recommendations
C. Wayne McIlwraith et al.
Proceedings of the annual convention of the American Association of Equine Practitioners [0065-7182]
yr:1995 vol:41 pg:91-93

【使用の期限】 外箱・ラベルに記載

【包装】 ハイオネート 4 mL × 3バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社
〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1
TEL: 03-6417-2800

【製造販売業者】

 **Boehringer Ingelheim** ベーリンガーインゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン株式会社
東京都品川区大崎 2-1-1

® 登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。